

教科担任制・学校担任制に関するアンケート結果（保護者用）

1 学級担任以外の教員の授業を、どうお考えですか。

とてもよい	58%
よい	38%
あまりよくない	4%
よくない	0%

} 96%

2 教科担任制や学校担任制について、お子さんからの意見があれば、聴き取ってご記入ください。

- ・いろいろな先生がいて良いと思う
- ・合う先生と合わない先生がいるので、一人に縛られなくて良い
- ・担任以外の先生でも、授業がわかりやすければ、良い。
- ・教科担任制の方がいい
- ・教科担任と言うことはその分野の専門ということだから、しっかり学べる気がする。
- ・先生が大変だからいいと思う
- ・本人は嬉しいと言っています
- ・いろいろな先生と知り合えるのでいいと思う
- ・楽しくやっていると聞いている
- ・いろいろな先生の授業を受けることができ、面白いと言っている
- ・楽しくていい
- ・わからない
- ・担任の先生がいいと言っている

3 教科担任制・学校担任制の授業は、お子さんにとってどのようなメリット（よいところ）があると思いますか。

- ・いろいろなタイプの先生から教わることで子どもの学びにも幅ができると思う
- ・複数の先生と触れ合う機会が増え、本人にとっても分からない時に質問できる先生が増え、より安心感が増したと思う。
- ・いろいろな大人と会話ができるのはとても良いことだと思う。
- ・得意な教科の教師の方が教え方が上手い気がする。
- ・いろいろな先生に出会うことができる。
- ・個々の先生方の様々な観点の指導を受けることが可能になるのではないのでしょうか。また、電子機器をより効果的に活用した授業が期待できる。
- ・教科によって違う先生の授業を受けられた方が、より詳しく楽しく学べると思う。
- ・先生の得意な分野での授業が受けられる。
- ・高学年になり色々な先生の授業が受けられる。

- ・いろんな先生から教わると、子どもたちの知見が広がっていいと思う。
- ・気分が変わる
- ・1年間、担任の先生との相性にかかわらず過ごせるのはメリットだと思う。学校全体で子どもを見ていただけるのも安心。
- ・新鮮(少し緊張感もあり)な気持ちで授業に取り組める点。子どもたちが心を許して話せる先生が増えていくことが利点に思う。
- ・先生方も個々人、色々な考え方やセンスを持っているので、担任の先生だけでなく、なるべく多くの個性ある先生方に接して、多様な考え方やセンスがあることを授業を通して感じるができるのは、子どもたちの人格形成において大変よいと思う。また、子ども側も何人もの先生方に「見られている、観られている、診られている」というのは、成長の過程、またいじめ防止、心身の罹患時など、様々な面で子どもへの励みと時には抑止力にとっても効果を発揮すると思う。
- ・いろいろな先生に触れ合って考えを学べるところ。
- ・いろいろな大人の意見があることを学べること。
- ・いろいろな先生と交流があれば、廊下ですれ違った時も安心するし、話しやすい先生に相談もできると思う。
- ・担任の先生以外にも関わってくれている先生がいることを知ることができること。
- ・教科担任制については、教員が専門性を活かした授業展開が存分に行える点がいい。音楽、図工の授業の豊かさを見れば明らか。また、閉ざされた空間になりがちな学級運営に担任以外の目が入ることで風通しがよくなり、とてもよいと思う。

4 教科担任制・学校担任制の授業は、お子さんにとってデメリット(よくないところ)があると思いますか？

- ・特にない(多数)
- ・本人の情報(特性や当日の体調など)の共有が難しい場合がある。
- ・いろいろな先生になると人見知りで質問しづらい可能性がある。
- ・特にない。メリットの方が大きい。
- ・クラスメイトとの関係性や直前の授業や休み時間での様子が分からないので、対応が難しくなるかもしれない。
- ・一人の先生がほとんどの科目を担当すると、子ども一人ひとりの特性を把握する機会が増えると思うが、教科別になると個々の特性が把握しにくくなるのではないか。
- ・落ち着かない。
- ・我が子を責任もって見て下さる方がハッキリしないので、何かトラブルがあった時、将来の進路などの相談をしたい時に、どの先生に聞いたら良いのかが分かりにくいかなと思う。
- ・教師への好き嫌いという感覚が生じる可能性がある。それによって、その授業を受けたくないなど学習への影響が出ることが予想される。
- ・先生方の得意分野や適性、また負担やキャパシティーを十分に慎重に配慮する必要があると思う。
- ・低学年の子どもにとっては、1人の先生と常に一緒の方が緊張しないのかなと思う。
- ・担任の先生と過ごす時間が減ってしまうこと。
- ・担任との繋がりが薄くなってしまうこと。
- ・低学年なのでよく分からない。
- ・分からない。

5 全国で始まる教科担任制、本校の学校担任制の今後について、ご意見ありましたらご記入ください。

- ・中学校と同じなので、問題はないかと思う。
- ・分かりやすく魅力的な授業を受けられることが重要。教科担任制の方が、1つの授業にかけられる準備時間が長く取れそうで、授業内容向上が期待できそう。また、多くの先生に触れる機会があることは、子どもにとって有益であると感じる。ゆえに、教科担任制には期待している。
- ・この取り組みがクラス担任の先生型の負担軽減に繋がるといいなと思う。授業への電子機器の活用は、難しい面もあるかと思うが、年度を重ねるごとに着実に進んでいくと嬉しい。
- ・担任の先生はもちろん、学年問わず様々な先生方に子どもたちを見ていただけていると思う。これからも、学年等問わず、子どもたちの成長を見守っていただきたい。
- ・大賛成だ。
- ・先生に余裕がないと感じている。まだ残業も多いと思う。全国的に教員不足が言われている中、多種多様な仕事に追われているであろうことが傍目にも分かる。就職氷河期世代の教員がすっぱりといなく、若い先生たちばかりなのも良くも悪くもあると思う。先生たち自身の学びや相談の時間が十分なのかと気になっている。先日、区の教育相談を利用した。私が得たアドバイスを担任の先生に連携したが、先生たちが壁に当たった時に相談する先はないものなのかと思った。会社なら現場の社員は本部に相談する仕組みがあるのが普通。本部の人はさらに専門家に当たったり、各所と連携して顧客も社員も会社も納得できる方法をひねり出していく。児童心理の専門家も、子どもを直接ケアする人も圧倒的に足りていないと感じている、少ない人手を効率的に使おうとするばかりでなく、専門的な人材を投入する必要がある所に十分投入してほしいと思う。
- ・毎日の生活や進路についての相談窓口を教えていただけると助かる。
- ・どのような制度になろうとも、子どもと教師とのコミュニケーションが大切で、子どもたちが安心して登校し、先生に自由に質問や相談ができるような環境であることが大切だと思う。という点で、好きな先生が増えることが学習意欲にも関係すると思うため（嫌いな先生をなくす意味）、教師が子どもと関わることに関する共通意識をもつためにも、教育、セミナー等の実施があるとよいと思う。
- ・少子化の今だからこそできる、面白い試みであると思う。先生方の過労も問題になっている中、この試みが上手く労務の効率化に繋がればよいと思う。
- ・学級担任ガチャの不公平さがなくなり、風通しがよくなることを願う。
- ・担任だけでなくいろいろな先生に見てもらうことで、子どもの良さをより引き出してくれるようになるのではと期待している。ただ各授業の様子が見れない分、担任の先生が子どもについて把握できないことも出てくるのではと思う。また、人数が多い学校は関わる子どもの数もかなり多くなると思うので、学校担任制がうまく機能するためにはさらなる工夫が必要ではないかと思う。
- ・学校担任制については、親として実感がなく、また子どもに聞いても実感がないう。よって、今後の進展に期待している。子どもを多くの目、視点によって見守ることはとてもいいことだと思う。

学級担任以外の教員との関わりが増えることにメリットを感じ、教科担任制・学校担任制に期待する保護者の声が多かった。多様な専門性を有する教員から学ぶことで、学びの幅や視野が広がるといった意見や、見守る教員が増えることで、子どもの安心感につながるといった意見も多くあった。一方で、子どもの特性や体調などの共有、教員間の連携について心配する声や、相談窓口が分かりにくいといった声もあった。また、教科担任制＝専門性の高い授業が受けられると考えている保護者も多かった。本校で今まで依頼したアンケートで、これほど教育に関する多様な思いや願い、期待を感じられる意見はなかった。今後とも本校への保護者の期待に応え、信頼を得られる学校担任制を推進していきたい。